



2020年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月4日

上場会社名 EPSホールディングス株式会社
 コード番号 4282 URL <https://www.eps-holdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 巖 浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 副社長執行役員 (氏名) 関谷 和樹

TEL 03-5684-7873

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績(2019年10月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	15,053	6.9	740	52.9	892	43.7	491	58.1
2019年9月期第1四半期	16,162	2.5	1,571	12.2	1,586	16.1	1,172	7.0

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 74百万円 (93.2%) 2019年9月期第1四半期 1,093百万円 (35.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	10.97	
2019年9月期第1四半期	25.78	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	65,211	47,575	68.4
2019年9月期	66,566	46,337	65.1

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 44,598百万円 2019年9月期 43,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		13.00		15.00	28.00
2020年9月期					
2020年9月期(予想)		13.00		15.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,500	5.1	6,170	1.7	6,320	0.8	3,540	2.6	77.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期1Q	46,311,389 株	2019年9月期	46,311,389 株
期末自己株式数	2020年9月期1Q	653,547 株	2019年9月期	1,971,195 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期1Q	44,779,375 株	2019年9月期1Q	45,476,799 株

(注)期末自己株式数には、EPS益新株式会社が所有する当社株式93,090株が含まれています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績全般の概況

	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	16,162	100.0	15,053	100.0	△1,109	△6.9
営業利益	1,571	9.7	740	4.9	△830	△52.9
経常利益	1,586	9.8	892	5.9	△693	△43.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,172	7.3	491	3.3	△680	△58.1

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の連結売上高、営業利益ともに概ね計画通りに推移しています。

前年同期と比較すると、売上高ではC S O事業が増収であったものの、益新事業において中国における薬品管理法改正が影響し、製造ラインを一時的に停止したことによる出荷への影響、Global Research 事業において大型案件が前期終了した影響で、連結売上高は15,053百万円（前年同期比 6.9%減）となりました。また、営業利益は、益新事業のライン停止の影響のほか、C R O事業は前期においてモニタリングの好採算案件及び大型臨床研究が終了した影響があり、740百万円（同 52.9%減）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

セグメントの状況

当社グループは主として以下の5セグメント（国内3、海外2）にて事業を展開しています。

			前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
			百万円	百万円	百万円
国内事業	C R O	売上高	7,001	6,926	△74
		営業利益	1,264	787	△477
	S M O	売上高	3,470	3,509	38
		営業利益	477	471	△5
	C S O	売上高	1,952	2,831	878
		営業利益	99	226	126
海外事業	Global Research	売上高	1,177	1,016	△160
		営業利益	31	70	39
	益新	売上高	3,149	1,160	△1,989
		営業利益又は 営業損失(△)	77	△355	△433

当第1四半期連結累計期間においてC R O事業にあった(株)E P S アソシエイトは2019年10月1日付でGlobal Research 事業のE P S インターナショナル(株)と合併しています。上記の前年同四半期比較については、前第1四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

① C R O事業

C R O事業は主に以下の体制にて展開しています。

(ア) 治験・PMS（製造販売後調査）等業務受託：イーピーエス(株)、ACメディカル(株)

(イ) 臨床研究業務：E Pクルーズ(株)

(ウ) 医薬・医療系 I T関連業務：E Pテクノ(株)

C R O事業を業務別でみると、治験・PMS等受託業務は前年同期と比較すると、モニタリングにおいて高単価案件が前期終了したこと、前下半期に引合いが低調であったことが当期間に影響し減収減益となりました。対計画では実施中の試験が順調に推移したこと、また新規案件獲得も好調であったことから売上高、営業利益ともに超過しました。当期の引合いは好転してきています。

臨床研究業務は計画通りに推移しています。前期に大規模臨床研究が終了したことから、前期と比較して利益が減少していますが、医師主導治験を積極的に受注することにより稼働率は良好です。

医薬・医療系 I T関連業務につきましては、外部向けのシステム販売を増加させています。

この結果、売上高は前年同期と比較して74百万円減の6,926百万円（1.1%減）、営業利益は477百万円減の787百万円（37.7%減）となりました。

② S M O事業

S M O事業は、(株)E P総合にて展開しています。

同事業では、試験依頼者への提案型営業の全面展開やアライアンス契約による受注の確保、症例集積性のよい優良施設に対するリソースの集中等を積極的に行っています。

同時に、社内体制の整備と地域性を考慮したC R C（治験コーディネーター）やS M A（治験事務局支援担当者）の適正配置などにより、収益性・効率性の向上を押し進めながら、がんや精神疾患、皮膚科領域をはじめとした専門性に特化した教育を強化しています。

また、前期よりC R O事業及びGlobal Research 事業との協業プロジェクトを開始し、迅速な症例集積と治験コストの低減を図るための新しいビジネスモデルの展開に取り組んでいます。

この結果、売上高は前年同期と比較して38百万円増の3,509百万円（1.1%増）となりました。営業利益は上記取り組みへの人的投資もあり、前年同期と比較して5百万円減の471百万円（1.2%減）の減益となりました。

③ C S O事業

C S O事業は(株)E Pファーマライン、ACメディカル(株)及び(株)E Sリンクにて展開しています。

医薬向けコントラクトMR（契約MR医薬情報担当者）は、近年続いた製薬業界のMR削減に起因するコントラクトMRへの需要低減が一巡し、引合いも回復傾向にあるため、概ね計画通りとなりました。

医療機関向けのコールセンターを行うメディカルコンタクトセンター事業は、高収益なスポット案件の受託もあり計画を超過しました。また、医療機器向けのコントラクトMR、学術資材等作成事業、B P O事業においては概ね計画通りとなりました。

この結果、売上高はメディカルコンタクトセンター事業を中心に伸長し、前年同期と比較して878百万円増の2,831百万円（45.0%増）、営業利益は前年同期と比較して126百万円増の226百万円（127.1%増）となりました。

④ Global Research 事業

Global Research 事業は、E P S インターナショナル(株)とその海外グループ会社で構成されており、中国国内のC R O事業を含めアジア・パシフィック地域を中心に事業を展開しています。

海外から受託する国内試験については前期に大型案件が終了したことにより減収となりました。アジア・パシフィック地域においては引き続き事業基盤を整備しており、各国でのローカル案件の受託に注力しています。また、中国国内のC R O事業につきましては中国市場の拡大に伴い引合いが増加しており、オペレーションの強化を図っています。

この結果、売上高は前年同期と比較して160百万円減の1,016百万円（13.7%減）、営業利益は前年同期と比較して39百万円増の70百万円（125.8%増）となりました。

⑤ 益新事業

益新事業は、E P S 益新(株)と益新(中国)有限公司の2つの統括会社と中国のグループ会社で展開しています。

同事業は、(株)スズケンとの緊密な資本業務提携のもと、医薬品や医療機器を中心とした製品関連事業、国際貿易事業及び周辺サポート関連事業を展開し、「日中をつなぐヘルスケア産業の専門商社」として一層の収益拡大を図っています。

製品関連事業においては、医薬品の製造販売を収益の柱としていますが、中国で2019年8月に薬品管理法の改正が公布されたことに伴って、既存製造業者への一斉点検・検査が実施され、中国のグループ会社においても製造ラインを一時的に停止したことが影響し、売上・利益ともに減少しました。当該製造ラインについては、2019年12月中に稼働は再開しましたが、今後の供給に対し影響を受ける可能性があります。

医療機器販売等は新規開拓が順調に推移し、収益を伸ばしています。

また、国際貿易事業においては、製品の販売が順調に推移しています。

その結果、売上高は前年同期と比較して1,989百万円減の1,160百万円(63.2%減)、営業損失は355百万円(前年同期間77百万円の利益計上)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月7日に2019年9月期決算短信にて公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,283	18,975
受取手形及び売掛金	16,125	13,386
有価証券	1,858	1,808
商品及び製品	992	1,121
仕掛品	1,464	2,008
その他	3,248	3,515
貸倒引当金	△137	△158
流動資産合計	40,834	40,658
固定資産		
有形固定資産	5,658	6,045
無形固定資産		
のれん	6,762	6,675
その他	991	996
無形固定資産合計	7,754	7,672
投資その他の資産		
投資有価証券	4,786	4,201
敷金及び保証金	2,067	2,169
その他	5,492	4,491
貸倒引当金	△27	△26
投資その他の資産合計	12,319	10,835
固定資産合計	25,732	24,553
資産合計	66,566	65,211
負債の部		
流動負債		
買掛金	648	777
短期借入金	1,265	965
1年内返済予定の長期借入金	449	372
未払法人税等	1,302	92
賞与引当金	3,051	1,438
受注損失引当金	242	225
その他	9,030	9,746
流動負債合計	15,991	13,618
固定負債		
長期借入金	424	367
役員退職慰労引当金	395	106
退職給付に係る負債	2,146	2,110
資産除去債務	614	596
その他	656	836
固定負債合計	4,238	4,017
負債合計	20,229	17,636

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,888	3,888
資本剰余金	13,669	12,889
利益剰余金	28,628	28,454
自己株式	△3,765	△1,178
株主資本合計	42,420	44,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	808	364
為替換算調整勘定	544	621
退職給付に係る調整累計額	△470	△441
その他の包括利益累計額合計	881	544
非支配株主持分	3,035	2,976
純資産合計	46,337	47,575
負債純資産合計	66,566	65,211

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	16,162	15,053
売上原価	10,055	10,889
売上総利益	6,107	4,164
販売費及び一般管理費	4,536	3,423
営業利益	1,571	740
営業外収益		
受取利息	27	26
保険解約益	27	25
為替差益	-	61
その他	31	70
営業外収益合計	85	184
営業外費用		
支払利息	3	3
為替差損	57	-
出資金清算損	-	14
自己株式処分費用	-	11
その他	9	2
営業外費用合計	70	32
経常利益	1,586	892
特別利益		
投資有価証券売却益	256	-
段階取得に係る差益	198	-
特別利益合計	454	-
税金等調整前四半期純利益	2,040	892
法人税、住民税及び事業税	73	△203
法人税等調整額	659	748
法人税等合計	733	545
四半期純利益	1,307	347
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	134	△144
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,172	491

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,307	347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	△449
為替換算調整勘定	△146	147
退職給付に係る調整額	3	29
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△213	△273
四半期包括利益	1,093	74
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,018	154
非支配株主に係る四半期包括利益	75	△80

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年10月29日開催の取締役会決議に基づき、2019年12月12日付で、香港泰格醫藥科技有限公司を処分先とする第三者割当による自己株式1,400,000株の処分を行っています。

また、当社は2019年2月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式82,000株の取得を行いました。

これらにより、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が2,586百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末の自己株式は1,178百万円となっています。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額(注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	CRO事業	SMO事業	CSO事業	Global Research 事業	益新事業	その他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	6,499	3,443	1,929	1,086	3,142	61	16,162	—	16,162
セグメント間の内部 売上高又は振替高	502	26	23	90	7	417	1,067	(1,067)	—
計	7,001	3,470	1,952	1,177	3,149	478	17,230	(1,067)	16,162
セグメント利益	1,264	477	99	31	77	2	1,952	(381)	1,571

(注) セグメント利益の調整額(381)百万円は、セグメント間取引消去等の8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用(389)百万円が含まれています。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間に、当社を株式交換完全親会社、往来技術株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施したことにより、「CRO事業」セグメントにおいて、のれんの金額が1,164百万円増加しています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額(注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	CRO事業	SMO事業	CSO事業	Global Research 事業	益新事業	その他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	6,522	3,500	2,802	957	1,158	113	15,053	—	15,053
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	404	8	29	59	1	419	922	(922)	—
計	6,926	3,509	2,831	1,016	1,160	532	15,976	(922)	15,053
セグメント利益	787	471	226	70	(355)	30	1,230	(489)	740

- (注) 1 セグメント利益の調整額(489)百万円は、セグメント間取引消去等の7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用(497)百万円が含まれています。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用です。
- 2 株式会社E P S アソシエイトはE P S インターナショナル株式会社を2019年10月1日付で吸収合併し、商号をE P S インターナショナル株式会社へ変更しています。それに伴い、セグメントを「CRO事業」から「Global Research事業」に変更しました。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントに基づき作成したものを開示しています。